



展示紹介

Vol. 3

2010.9.1



関東大震災～救援品 ウイスキー

アメリカ赤十字社から贈られたウイスキー

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分、マグニチュード7.9の大地震が関東地方を襲いました。死者約10万人、行方不明者約4万人、重軽傷者約10万人、そして300万人もの避難民を出す未曾有の大災害となりました。

日本赤十字社は、全国から救護員4,466人を動員し、主要駅などに臨時救護所を設けたほか、赤十字病院等に191カ所の救護所を開設しました。殉職者6人を出しながらも、救護した被災者はのべ206万人にのぼります。



東京・芝公園に開設した救護所

この震災に対し、27カ国の中立組織である赤十字社から救援物資や義援金が寄せられました。

アメリカ赤十字社からの救援物資の中に「ウイスキー」がありました。ボトルの裏側には英語で、「医療用の使用に限定する」と明記されています。



毎年9月1日は「防災の日」、この日を含む一週間を「防災週間」として、防災知識の普及のための講演や展示会、防災訓練、防災功労者の表彰などが全国で実施されます。